

平成29年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市河川防災ステーション			所管課 TEL	維持課 0263-34-3000(内線1838)				
所在地	松本市宮淵本村1番10号			設置年月	平成14年4月1日				
施設設置目的	洪水時等の非常時における水防活動を円滑に行うとともに、平常時における防災意識の向上及び地域活動の活性化を図る								
施設概要・設備	敷地面積 2,800㎡ 延べ床面積 563㎡ 会議室、多目的ホール、水防倉庫、事務室、芝生広場、ヘリポート、資材備蓄広場								
指定管理者名(選定方式)	公益社団法人 松本地域シルバー人材センター (非公募・特命)								
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日(5カ年)								
指定管理者の 主な業務	施設使用の許可、施設の維持管理								
利用料金制の導入	なし 委託料方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比(%)	対前年比(%)				
	会議室貸出回数	250	247	98.9%	103.3%				
	(特記事項)								
事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成29年度)				市の収支				
	収入 (歳入)	年度計画額		収支実績額		平成29年度決算		平成28年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	900,000	指定管理料	897,328				
		計	900,000	計	897,328	計	0	計	0
	支出 (歳出)	警備等委託料	267,000	警備等委託料	266,328	指定管理料	897,328	指定管理料	897,328
		人件費	461,000	人件費	460,029				
		機械使用料	77,000	機械使用料	76,616				
		消耗材料費	49,000	消耗材料費	48,575				
		水道料	46,000	水道料	45,780				
		計	900,000	計	897,328	計	897,328	計	897,328
損益	0		0		差引	-897,328	差引	-897,328	
	(特記事項)								

2 市(所管課)による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
 評価の手段は、実績報告書(毎月)及び事業報告書(年度終了時)の点検並びに立入検査(随時)等によるものです。

評価の基準	
A	(1.0) 高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0.7) 事業計画書(提案書)とより適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0.5) 事業計画書(提案書)とより概ね実施されていたが、一部に不適切な部分の確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0.2) 不適切な部分の確認されたので、改善を指示したが、未対応である。

小計
71.7

大項目	中項目	評価項目	配点	評価	評価の根拠	
管理能力	団体の概要	1 団体の経営状況は良好か。	2	B	決算報告書により経営状況に問題は見られない。	
		2 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか。	1	A	公益法人であり体制に安心感がある。	
	適切な管理運営	3 市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解した管理はされているか。	2	A	設置目的、管理運営業務を的確に理解した事業計画となっており、適切に計画が履行されている。	
		4 市が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか。	2	B	管理運営方針、管理運営業務の内容及び管理基準に適合した事業計画とあり実施されており、問題は見られない。	
		5 公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し、対応しているか。	2	A	公平な利用許可、法令を遵守した管理、個人情報の保護等に留意した適切な対応がされており、問題は見られない。	
		6 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか。	2	A	緊急時の連絡等も密に行われるなど、責任を持って管理運営に携わっている。	
	市民の平等利用	7 正当な理由なく一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか。	2	A	ホールが市民に開放されており、公平性が保たれている。	
		8 事業内容に偏りがあり、利用者が限られることはないか。	2	B	対象年齢が幅広い自主事業が実施されている。	
	適切な組織・体制	9 職員体制や配置人員は適切であるか。	2	B	人員配置、シフト体制、勤務時間ともに問題なく、管理運営上は適切である。	
		10 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか。	2	A	管理スタッフは、施設の管理運営、維持管理作業の経験者であり、指揮系統、責任権限も明確になっている。	
	職員研修・人材育成	11 労働関係法令等を遵守した労務管理規程等を整備し、業務従事者の適正な労働条件を確保しているか。	2	B	関係法令を遵守した適正な労働条件は確保されている。	
		12 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか。	2	B	計画的に職員研修が行われており、問題は見られない。	
		13 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか。	2	B	会計処理の基準等に基づき、適正な事務処理がされている。	
		14 経理帳簿や台帳等を整備し、情報公開や監査請求に適切に対処できるか。	2	B	適正な経理の管理をしており、情報公開、監査請求に対処できる内容となっている。	
		15 必要に応じパソコン等IT機器を活用できるか。	1	A	事務処理において、パソコン等IT機器を活用している。	
		16 施設や附属設備の保守点検作業は、必要な基準や仕様を満たしているか。	1	A	施設、備品について日常点検が行われており、管理基準を満たしている。	
		17 業務報告や事業報告が適切に作成されているか。	2	A	実績報告書及び事業報告も適切に作成され、期限までに提出されており、問題は無い。	
		18 安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか。	3	B	緊急時の対策として安全講習が行われており、緊急時対応が業務従事者に徹底されており、問題は無い。	
		19 施錠、警備体制等は適切であるか。	3	A	夜間警備については警備会社に委託しており問題ない。	
		20 利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか。	3	B	地震や風水害などに備えた研修を行い万全を期している。	
	安全管理	21 事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか。	3	B	関係機関への連絡及び事故状況の把握、記録、市への連絡と報告書の作成まで、一連で緊急連絡網が作成されており、問題は無い。	
		22 避難経路が確保されており、避難時に支障をきたす障害物はないか。	3	B	施設内は整然と管理されており、避難時の支障はない。	
	緊急時対応	23 個人情報保護	23 個人情報等の具体的管理方法(書類・電子データ等)においてセキュリティ対策を講じているか。	2	B	書類については適正に処理されている。
		24 秘密の保護	24 職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか。	2	B	職員には守秘義務の徹底が図られており問題は無い。
施設の運営	業務内容	25 業務について処理・対応が適切に行われているか。	2	B	事業計画書に基づき適切に行われており、問題は無い。	
		26 管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか。	2	A	日常の巡回、清掃等が適切に行われており、管理区域、業務範囲についての的確に把握されており、問題は無い。	
		27 事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか。	3	A	多目的広場は芝生の管理が良く、季節の鉢花が植えられていて地域の憩いの場になっている。	
		28 年間の事業量が適切に実行されているか。	2	B	事業計画に基づき適切に事業が実施されており問題は無い。	
	経費節減・業務効率化	29 事業計画書どおりの経費節減や業務効率化が実行されているか。	3	B	自らが施設の修繕等を実施し経費の縮減を図っており、節電等にも努めている。	
	備品等の維持管理	30 引き渡した備品等に過不足はないか。	1	B	備品等の過不足はなく、問題は無い。	
		31 引き渡した備品等はその機能が失われていないか。	1	B	備品の機能は確保されていて問題は無い。	
	利用の促進	32 施設の利用促進に努めているか。	3	B	自主事業の実施等により施設の利用促進に取り組んでいる	
	利用者サービスの向上に努めているか。	33 利用者サービスの向上に努めているか。	4	A	飲料設備を自主的に設置をするなど利用者サービスの向上に努めており、高く評価できる。	
	障害者等への配慮	34 障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか。	3	B	障害者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理が行われている。	
	苦情・要望等への対応	35 利用者アンケートが適切に実施されており、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか。	3	B	苦情対応は迅速に行われた。利用者ニーズを把握するためにアンケート調査を実施し業務改善を図っている。	
	セルフモニタリング	36 セルフモニタリングが適切に行われているか。	3	B	セルフモニタリングは適切に行われており、問題ない。	
	環境への配慮	37 省エネ等環境負荷の軽減や周辺環境に配慮するとともに、廃棄物は適切に処理されているか。	2	A	日常的に節電に取り組むなど、適切な管理運営が行われている。	
		地域との連携	38 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか。	2	B	積極的に地域活動等に参加ができた。施設利用もしていただいた。
経済性	事業報告及び決算	39 支出総額は事業計画書の範囲内であるか。	3	B	事業計画書どおりの事業を実施しており、問題となる点は見当たらない。	
		40 事業計画書どおり、収入が確保できたか。(無料施設では、利用者を確保できたか)	3	B	事業計画書どおりの事業を実施しており、前年より多少会議室の利用が増えた。	

3 利用者による評価

(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容・別紙へ記入してもよい)

利用者アンケート	実施時期	平成30年3月
	調査対象	施設利用者
	調査方法	アンケート
調査結果	どの施設を利用しましたか。・会議室 5人 ・多目的ホール 17人 ・多目的広場 7人 月に何回くらい利用しますか。・1回 0人 ・2~3回 16人 ・4回~6回 1人 ・7回以上 3人 交通手段は何ですか。・徒歩 1人 ・自転車、バイク 5人 ・自家用車 14人	
利用者からの意見 要望・苦情等	・楽しく利用している。	

4 指定管理者による自己評価

平成29年度の 自己評価	日々、水防センター周辺、多目的広場の巡視を行い利用者の安全を図った。多目的広場については、保育園児から大人まで芝生広場を利用する人が気持ちよく利用できるように、草取り、芝、植栽の管理を徹底的に行うことができた。センター駐車場において年間4回行っている「ふれあい広場」も定着してきており、会員の手作りの野菜や手芸品の販売、刃物研ぎなど、多くの市民の皆様に来場いただき、河川防災ステーションのPRも同時にできた。事務所内に設置してある機械警備や事務所南側に設置してある防犯カメラなどにより施設の防犯に努めた。グリーンカーテン(ゴーヤ等)を設置し、省エネに努めた。市民からの要望・苦情は無かったが、気持ちよく利用していただくために、日々の施設管理、窓口対応に気を配っている。
要望・苦情への 対応状況	
今後の目標	・広場利用者の増加に伴い、周辺の安全管理に一層配慮をしたい。 ・「ふれあい広場」など事あるごとに防砂ステーションの役割について市民に啓発していきたい。 ・グリーンカーテン(ゴーヤ等)を継続して実施していきたい。 ・利用者アンケートを行い、利用者の意見を聞いていく。

5 市(所管課)による総合評価

総合評価 (4段階評価) の基準	
A (1.0)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B (0.7)	アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C (0.5)	アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D (0.2)	改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

<p>【自主事業を実施している場合の評価】 ふれあい広場(年4回)が定着し、好評を得ている。</p> <p>【総合的な評価】 実績報告書及び事業報告が期限までに提出され、適切な事務処理が行われている。 館内清掃、多目的広場とも十分な管理が行き届いており、特に多目的広場は、多くの市民に憩いの場として活用されている。 グリーンカーテンの設置による冷房量の削減など経費の節減に努めている。 会議室利用率が向上しており、目標値に近づいている。</p>
--

配点	評価
10	A
点数	10

合計点数
81.7

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「標準」(普通)
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	「不可」
「不可」の場合、指定管理者の取り消しの処分を含め早急な改善対応を検討する必要がある。	

判断結果
良好